

科目	政治経済研究	単位数	2	学年	3	学級	BM 系列	学科	普通科 国際教養科
----	--------	-----	---	----	---	----	----------	----	--------------

学習の到達目標	政治・経済の基本原理やしくみを学ぶことによって、現代の社会が抱える諸問題を主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---------	--

使用教科書 副教材等	教科書「政治・経済」数研出版 副教材「新課程 4ステージ演習ノート 政治・経済」数研出版
------------	---

学期	月	学習項目	学習内容の説明	
前期	4	1 民主政治の基本原理	① 政治と国家 ② 民主政治の歩み ③ 日本国憲法の基本的性格 ④ 基本的人権の保障と平和主義 ⑤ 国会・内閣・裁判所 ⑥ 地方自治 ⑦ 現代政治の現状と課題	
	5	2 日本国憲法と基本的人権		
		3 日本の政治機構		
	6	4 政治参加と民主政治の課題		
	7	5 国際政治の動向		① 国際社会の特質 ② 国際法 ③ 国際社会の組織化 ④ 戦後国際政治の展開 ⑤ 核廃絶と軍縮 ⑥ 地域紛争と民族問題
	9	6 国際社会の課題と日本の役割		
後期	10	7 経済活動の意義と経済体制	① 人間と経済活動 ② 資本主義と社会主義 ③ 3つの経済主体 ④ 市場機構 ⑤ 金融と財政 ⑥ 経済成長と景気変動 ⑦ 戦後日本経済 ① 戦後国際経済 ② 国際社会の諸課題	
	11	8 現代経済のしくみ		
	12	9 日本経済と福祉の向上		
	1	10 国際経済の動向		
		11 国際経済の課題と国際協力		

評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	授業に意欲的に取り組むとともに、自ら進んでニュースや新聞に親しみ、最新の情報を収集する能力を高めてもらいたい。
	思考・判断・表現	様々な情報を収集・分析し、出来事の背景を主体的に考察する力と、公正な判断をする能力を身につけてもらいたい。
	資料活用の技能	教科書、副教材を活用するとともに、新聞等マス・メディアによるニュースに積極的に接し、資料を活用する方法と分析する能力を高めてもらいたい。
	知識・理解	現実に行っている出来事を正しく把握するために、国内外の政治・経済の動向を注視する態度を常に持ち、政治・経済の基本的な内容を理解してもらいたい。
	評価方法	前・後期とも、考査の点数を基本に、出席状況・ノートや課題の提出状況などの平常点を加味して評価を行う。年間を通じての評価は、前・後期の平均とする。
担当教諭から	政治と経済に関する問題演習が主体となるので自主性が強く問われます。常に疑問を持ち、自ら考え、調べ、理解する態度を養ってもらいたい。	